

# 保健室だより

平成27年度第24号 千葉県立千葉南高校保健室

## 大学で何を学ぶか

南高生徒の多くは大学進学を考えてると思う。みんなはどここの大学に行きたいかもう決まってるかな？3年生はすでに受験真っ最中だから、決まってない人はいないと思うけど。1・2年生もね、時間がとれる時にいろんな大学を見に行っておくといいよ。オープンキャンパスの時じゃなくても、門のところにいる守衛さんに一言断って入ればOKのはずだ。できれば、そこの学生に直接話を聞いてみられたらいいね。お金に余裕があれば、学食で食事もしてみたらどうだろう。最近の大学の学食は素晴らしいらしいよね～。

さてさて、大学に入学したはいいが、合格することだけが目標だった人は、合格した時点で目標を失ってしまうことがある。某大学の先生に聞いたお話だが、東大に入ることが幼い頃からの目標で中高一貫の超進学校に入り無事に東大合格を果たした子がいた。しかし、それまでの十数年の目標を達成してしまったら、その途端にその子はどうしていいかわからなくなった。そして大学に行けなくなった。

大学はあくまでも将来自分が社会でどう生きていくかを考え、決定していくための時間を過ごすところだろう。だから通過点にしか過ぎない。そしてどここの大学かっていうよりも「こういう勉強がしたいから」「この先生のところで学びたいから」って大学を選ぶと、きっとキミの幸福感を高めてくれると思う。

またせっかく高い授業料を払うんだから、思い切り大学の施設や人材を活用しまくろうよ。決まった授業だけ出て家と大学を往復するだけじゃもったいない。その道のプロがわんさかいるんだから、全然関係ない学部先生のところにお話を聞きにいったっていいじゃない。いろんなサークルを掛け持ちして、他学部や他大学の子とお知り合いになるのも楽しいし、もしかすると将来、人的ネットワークの広さが自分を窮地から救ってくれるかもしれないよ。

## 私の知ってるすごい人

大学で(一時的に)同期だったTくんは、現役で日大芸術学部に入った。現代音楽をやりたいから。だけど入学してみて自分が思ってたのと違った。大学への足は遠のき、あてもなく電車に乗ってた時、高校の同級生で浪人してる子と会い、一緒に予備校に行った。そしてある時、受験雑誌で看護の大学を見つけ、面白そうだと思って受けて合格し、日大はやめた。大学に入りなおしたけど、1年生の時の教養の授業がつまらなくて、夜間の臨床検査技師の学校に通い始めた。当然大学は留年した。そして私の学年に落ちてきた。

一応臨床検査技師の国家資格はとり、さらに大学で2回留年。その後卒業研究でやってたことが面白くて、工学部大学院に進み、建築と看護の合体した研究みたいなのをやってた(多分)。その後専門学校の講師とかながら研究は続け、立命館大学博士課程に進み、兵庫県立看護大学設立のために役所に入った。その後研究論文が NASA に認められ、現在はなんと筑波大学教授(医学医療系)だよ。好きなことをとことん突き詰める彼の性格は、研究にぴったりだったんだね～。回り道の人生も面白いもんだよ、きっと。

おまけ:Tくんは当時 YAMAHA のポップコン(若い子は知らないよね～)にも応募し受賞。渋谷でライブもやってた。

## こんなサークルに入ったら楽しかったらうなあ…と思える本

## 「キケン」有川浩

成南電気工科大学のサークル「機械制御研究部」、略称「キケン」部長上野、副部長大神の二人がリーダーのこの集団は人間の所行とは思えない事件などの行為から、キケン=危険として周囲から忌み嫌われていた。理系男子たちの爆発的熱量が巻き起こすできごとの数々、それは痛快そのもの！「キケン」は代々、大学祭でラーメンを提供してきた。偶然「奇跡の味」ができた年もあったが…。通称「お店の子」と呼ばれる後輩元山の登場で、その奮闘努力の甲斐がありキケンのラーメンは…。とにかくはちゃめちゃだけど最高に面白いのだ。